

総務委員会資料（Ⅰ）

○倉敷チボリ公園事業の経済波及効果等について

平成19年10月25日

企画振興部

倉敷チボリ公園事業の経済波及効果

- ・対象年度 平成6年度～16年度
 建設時の効果：6年度～9年度 稼働に伴う効果：9年度～16年度
- ・委託先：(財)岡山経済研究所

○ 岡山県全体への経済波及効果

単位：億円

区 分	建設時の効果 (H6～H9)	稼働に伴う効果 (H9～H16)	合 計
直接生産効果	615	2,548	3,163
間接1次効果(a)	876	3,438	4,314
間接2次効果(b)	312	1,202	1,514
総合効果(a+b)	1,188	4,640	5,827

- (注) ・間接1次効果には、直接生産効果を含む。
 ・数値には小数点以下があるため、合計が合致しない区分がある。

○ 倉敷市への経済波及効果

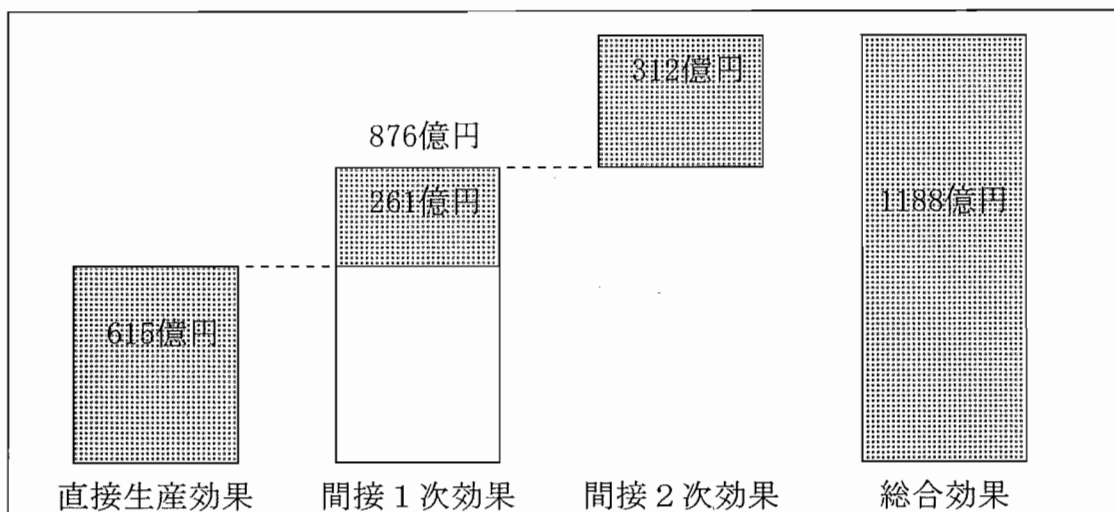
単位：億円

区 分	建設時の効果 (H6～H9)	稼働に伴う効果 (H9～H16)	合 計
直接生産効果	533	1,509	2,042
間接1次効果(a)	675	1,951	2,626
間接2次効果(b)	77	278	355
総合効果(a+b)	752	2,229	2,981

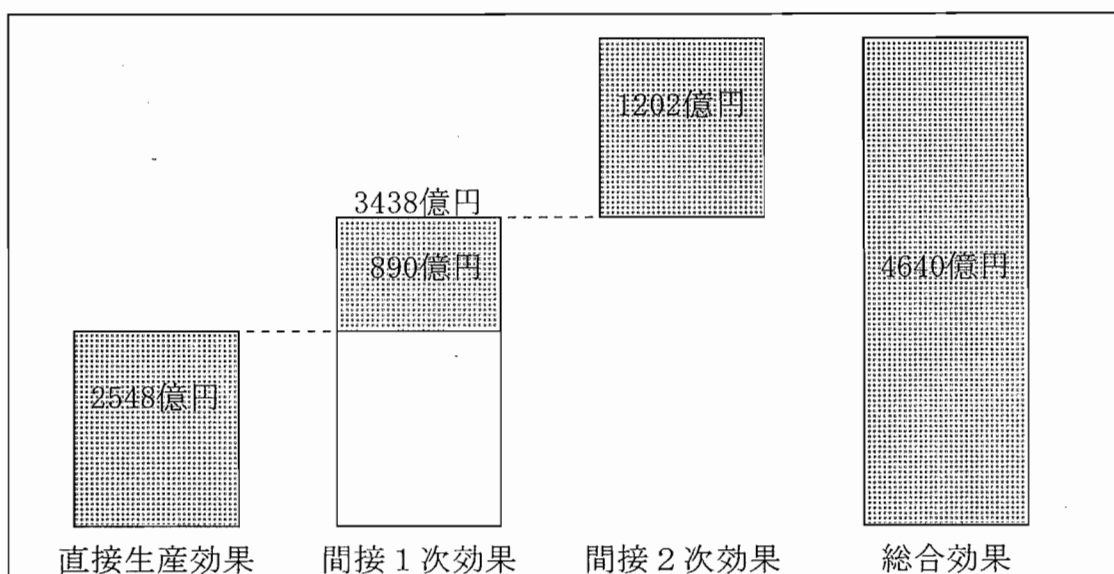
<参考>

- ・直接生産効果
 チボリ公園の建設に伴う直接及び関連投資額や、入園者が県内で支出した食費、旅費、宿泊費など
- ・間接1次効果
 産業間循環により、県内全体に生産効果が波及する効果
- ・間接2次効果
 直接生産効果及び間接1次効果で増加した家計消費により、県内の広範な部門に及ぶ2次的な波及効果

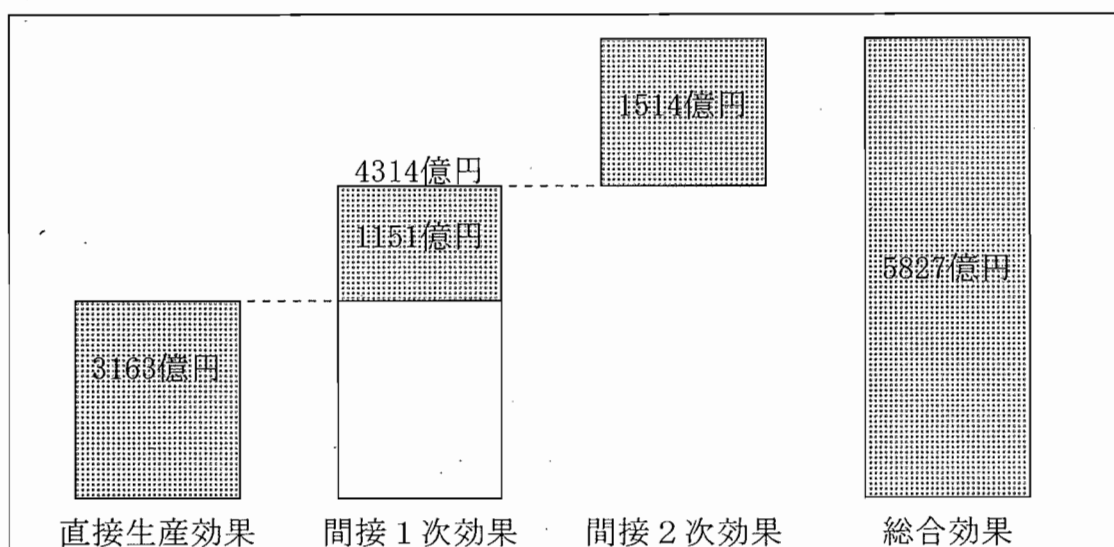
<倉敷チボリ公園の建設による経済波及効果—県全体> ①



<倉敷チボリ公園の稼働による経済波及効果—県全体> ②



<倉敷チボリ公園による経済波及効果—県全体> ①+②



倉敷チボリ公園を巡る諸状況について

去る9月5日（水）に知事が提案した市民の公園としての活用の件について、10月19日（金）、倉敷市長が来庁し、知事と会談が行われた。その概要は、次のとおりである。

1 倉敷市長からの回答要旨

市、県、チボリ・ジャパン社及び地権者との協議を通じて、県の協力を取り入れた市民公園化などの具体案を検討し、その結果に対する市議会の御意見を伺いながら、今後の市の対応を考えていきたい。

2 県と市の確認事項

- (1) 市と県は、市が主体となった市民の公園について、協議・検討する。
- (2) 市民の公園としての活用については、市が主体となって検討する。市の検討に当たっては、県は協力を惜しまない。
- (3) 協議は、まず市と県が行い、その都度必要に応じて、地権者やチボリ・ジャパン社と協議していく。
- (4) 今後の公園の在り方については、年内に大枠を示すことで協議を進める。

3 今後の対応等

早急に、倉敷市との協議を進める。